

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和6年3月14日(2024.3.14)

【公開番号】特開2022-155239(P2022-155239A)
 【公開日】令和4年10月13日(2022.10.13)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-188
 【出願番号】特願2021-58647(P2021-58647)
 【国際特許分類】
 A 6 3 F 7/02(2006.01)
 【FI】
 A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
 【提出日】令和6年3月6日(2024.3.6)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
 【請求項1】

所定条件が成立することに基づいて当否判定を行う当否判定手段と、
 該当否判定が行われる度に決定される変動時間に亘って識別情報の変動を実行した後、
 当該当否判定の結果を確定表示する識別情報表示手段と、
 当該当否判定が行われる度に決定される演出態様に従って演出図柄を変動させる変動演出
 を実行する変動演出実行手段と、を備え、

前記演出態様として、前記演出図柄の変動を所定時間実行した後、疑似連態様が仮停止
 する第1疑似変動を所定回数行った後、前記決定される変動時間が終了するまで前記演出
 図柄の変動を行う第2疑似変動によって構成される疑似連演出を特定する演出態様が少な
 くとも含まれる遊技機であって、

30

前記第1疑似変動において前記疑似連態様が仮停止することに関連した疑似連態様表示
 演出が所定の演出表示パターンに従い実行されるとともに、前記第2疑似変動において特
 別演出が実行可能とされ、

前記演出表示パターンとして、

対象となる第1疑似変動においてリーチ表示を行うことなく前記疑似連態様を仮停止す
 ることを内容とした第1表示演出パターンと、

対象となる第1疑似変動において前記リーチ表示を行うことなく前記疑似連態様を仮停
 止することに失敗した後、前記疑似連態様を仮停止することを内容とした第2表示演出パ
 ターンと、

40

対象となる第1疑似変動において前記リーチ表示を行った後、前記疑似連態様を仮停止
 することを内容とした第3表示演出パターンと、を備え、

前記第1疑似変動において前記第1表示演出パターン若しくは前記第2表示演出パター
 ンに従って前記疑似連態様表示演出が実行された後、前記第2疑似変動が実行される第1
 疑似連変動実行態様と、前記第1疑似変動において前記第3演出表示パターンに従い疑似
 連態様表示演出が実行された後、前記第2疑似変動が実行される第2疑似連変動実行態
 様と、を具備し、

前記第1疑似連変動実行態様では、前記疑似連態様表示演出が前記第2演出表示パター
 ンに従って実行される場合の方が前記第1演出表示パターンに従って実行される場合より
 も前記特別演出が実行される可能性が高く、

50

前記第 3 表示演出パターンが実行された場合は、前記第 1 疑似連変動実行態様が実行された場合よりも前記特別演出が実行される可能性が高いことを特徴とする遊技機。

10

20

30

40

50